

第 5 回 知床羅臼写真コンテスト 受賞者発表

第 5 回知床羅臼写真コンテストに多くのご応募をいただきありがとうございました。
厳正なる審査の結果、各賞が決定しましたので、ここに発表いたします。

< 最優秀賞 >

鎌田 祥子「なにしてる？」

< 生き物部門 >

部門賞 鎌田 祥子「なにしてる？」

入 賞 荒井 慎吾「競争」

入 賞 木村 幸子「私の守護神」

入 賞 早川 徳幸「港前はシャチ祭り」

入 賞 中村 浩昭「狙う」

< 自然・風景部門 >

部門賞 内海 大輔「羅臼岳の星空」

入 賞 鎌田 祥子「宇宙遊泳」

入 賞 佐藤 智一「豊漁を願って」

入 賞 渋谷 武宏「暁の出漁」

入 賞 中西 直樹「羅臼の夕暮れ」

< スナップ部門 >

部門賞 今井 欣一「豊漁の笑顔」

入 賞 河本 新二「Big Fin」

入 賞 御園生 智「色とりどり」

入 賞 津田 盛夫「富士丸、今年も頑張るぞ！」

入 賞 山宮 克彦「出港を待つ」

順不同敬称略

応募総数 114 点（生き物部門 24 点 自然部門 40 点 スナップ部門 50 点）

お問い合わせ先

一般社団法人 知床羅臼町観光協会 旅行事業部

TEL/FAX (0153)85-7331(ギャラリーミグラード内 10:00-16:00)

<http://www.rausu-shiretoko.com/>

<http://gallerymigrado.tumblr.com/>

審査員講評

【全体を通して】 応募総数 114 点

石井英二審査委員長

点数が多い動物部門で良い作品がありました。

カメラ機能性能をフルに使った写真が多くて、機材を使いこなしている人が多いと思いましたね。ちょっとフォーカスが甘い人がいましたが、、、。いままでの常識では考えられないような、良く撮れている写真が多くてなかなか選ぶのに苦労しました。レベル的には非常に高くなってきたなと思います。

あとは、構図なり、写真を撮るときのセンスでしょう。

動物が一瞬近くに現れたときの感動をかわして、うまくシャッターチャンスをつかんで欲しい。風景部門は、非常に独創的な捉え方をしているものが多かったので、よかったです。珍しいレンズを使っている方もいましたし、時間帯を上手に把握して光の具合をうまく利用して撮っている写真も多く見られました。

スナップ部門は、応募点数が少なかったのが残念です。応募者には初心者が多かったのですが、まだフォーカスの甘い写真が目立つなどありましたが、人の表情をうまく撮影している作品も何点かありました。今後も撮って行って欲しいですね。

関勝則 副審査委員長

動物部門は、毎年のように写真のレベルが上がっているように感じます。それぞれが見事にカットを切り取っているというのを感じました。

羅臼では、ヒグマウォッチングクルーズをやっているのもっと出てみてほしいですね。これだけクマを安全に見られる場所はないでしょう。そういう地の利を活かした作品がまだ少ないですね。シャチについては世界でトップクラスの観測地で、作品も増えました。

風景部門は、本当に、最近のカメラの性能を上手に使っていて要所要所で独創性の高いカットが多かった。ただ、昼間の風景が少なかった。朝早くか夜の作品が多かったので、できれば青空の素敵なカットも見たかったです。

スナップ部門に関しては、気負わずもっと応募して欲しいですし、地元の方にもっとだしてほしい。高級カメラでなくて良いのでどんどん撮ってもらいたい。人物は良い表情が多かった。もうすこし構図などを考えながら撮ると良い写真になるのになと思うものが多かった。

【最優秀賞】【生き物部門賞】応募点数 24 点

鎌田 祥子 「なにしてる？」

石井 手前のトドはカメラに興味を持って見えていますし、奥のトドはちょっと首を傾げている。その表情がシャープに写っていて、見事だと思います。

野生動物は全般的に、距離感を保って撮影するのが基本です。しかしトドは、トドの方から人に寄ってきてくれる。陸上の動物ではあり得ないし、あつてはならないシチュエーションですよ。トドの場合は、いくら人に近づいたとしても、餌が欲しくて寄っているわけでもないし、そういう意味で人間が悪影響を与えることはないと思います。この距離感が明快に面白く捉えられているのは良いです。

[早川徳幸「港前はシャチ祭り」を指して]シャチの写真も、もう少し構図がよければ最優秀賞に手がかかっていたと思う。

関 トド手前のカメラマンの持つライトの影響で、ソフトに顔が浮き上がっていてやさしい表情に見える。このライトがなければ印象が違ったでしょうね。

目の前の状況の中を、どうカメラで切り取るかですよ。特殊な状況下ですが、構図もきちんと納めていて、素晴らしいと思います。近からず遠からず。強いて言うならもう少し引いていても、よかったのかもしれないですが...

いかに羅臼の動物が素晴らしいか、シャチ、トド、クマ、世界広しといえどもそうないだろうと痛感しました。

過去の入賞作にもトドを捉えたものがあるが、ダイバーとの絡みというのが良いですね。

水中は、野生動物のほうが絶対的に有利で、人間から近づくということはできないのです。それを非常に良いタイミングで撮っている。しかし本当に見事なシャッターチャンスをものにできたなあと思います。

【自然・風景部門賞】応募点数 40 点

内海 大輔 「羅臼岳の星空」

石井 カメラの性能が非常に高性能になったなあとまず思われました。ハイマツ帯に知床峠の駐車場の明かりがうまく当たっている、そのバランスが良い。何回か撮って画面でみてやり直すデジタルカメラの利点をうまく使っているのかもしれないが。露出的にもうまく捉えていて、技術的に素晴らしいものがあるなと思いました。

関 石井さんの仰る通り、カメラの性能をうまく生かし、知床の夜空の星の綺麗さを見事に捉えている。羅臼岳と天の川が一枚に大変よくまとめられています。

写真の中で何が主人公なのかというのを考えた上で、何を取捨選択するかで、写真が生きてきます。そういったバランスをうまく撮って調和させていると思います。

【スナップ部門賞】応募点数 50 点

今井 欣一 「豊漁の笑顔」

石井 こどもの表情が非常に良い。動き、奥行きもあり、昆布を干している中の様子もよく出ている。非常に説明的ではあるけれど、良い写真だと思います。

関 いい昆布を持っていて、お母さんとそのこどもの掛け合いの微笑ましいスナップらしい感じ。羅臼の産業、家族らしさが見えている。ストーリーが伝わってくるのがいいですね。